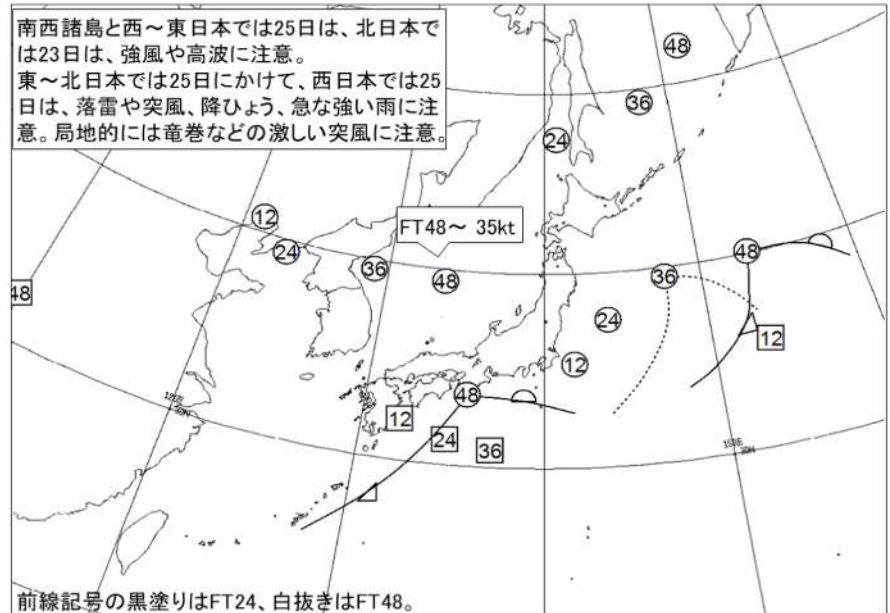


1. 実況上の着目点

- ① 日本付近は、東シナ海と日本の東に中心を持つ高気圧に覆われている。一方、伊豆諸島付近と北日本は、これらの高気圧の間の気圧の谷となっている。12時から伊豆諸島付近に低気圧を解析。低気圧周辺では、雷を検知し非常に激しい雨を解析。
- ② ①の高気圧の縁辺となっている北日本では、気圧の傾きが大きくなっており、やや強い風が吹き波が高くなっている所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の2つの高気圧は共に東へ移動するが、北日本では23日は引き続き気圧の谷となる。また、伊豆諸島付近の低気圧は、北東進し24日は日本の東へ進む。気圧の谷や低気圧周辺では、下層暖湿気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴ったやや強い雨の降る所がある。東日本太平洋側と北日本では23日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。また、北日本では高気圧の縁辺となり、気圧の傾きが大きく、やや強い風が吹き波が高くなる所がある。北日本では23日は、強風や高波に注意。
- ② 24日は、500hPa 5580m付近の-24℃以下の寒気を伴うトラフが北日本を通過する。下層暖湿気と上空寒気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴ったやや強い雨の降る所がある。東～北日本では24日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。局地的に竜巻などの激しい突風に注意。
- ③ 25日は、500hPa 5400m付近の-30℃以下の寒気を伴うトラフが深まりながら東シナ海から日本海へ進み、対応する低気圧が日本海を東進する。また、500hPa 5640m付近のトラフに対応して、前線を伴った低気圧が西日本太平洋側で発生し、日本の東へ東北東進する。前線や低気圧に向かう下層暖湿気や上空寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った強い雨の降る所がある。西～北日本では25日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。また、前線や低気圧の周辺では気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き波が高くなる所がある。南西諸島と西～東日本では25日は、強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項〔量的予報等〕 ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。

② 降雪量(18時からの24時間)：多い所(注意報級以上)はない。

③ 波浪(明日まで)：高い所(3m以上)はない。

④ 高潮(明日まで)：大潮の期間。東日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。